

87-1 都会のオアシス白金自然教育園散策 (距離約 3km)

白金附属自然教育園は、大都会「東京」の中心部にあって豊かな自然が残る、都市砂漠の中のオアシスともいえる緑地です。以下の順にビューポイントをめぐってみます。

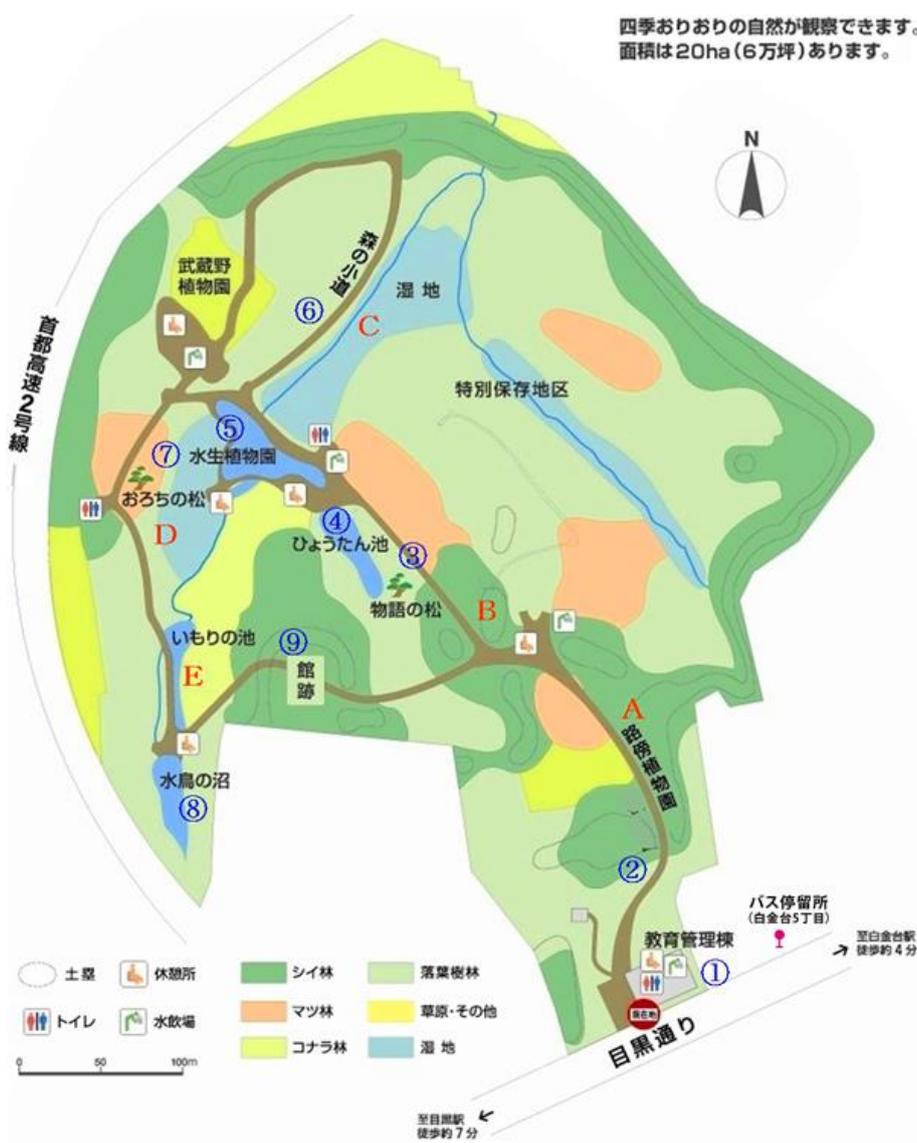
【道順】

JR 目黒駅から→白金自然教育園（散策）→白金台駅へ、もし涼しければプラチナ通などを経て白金台駅その他へ

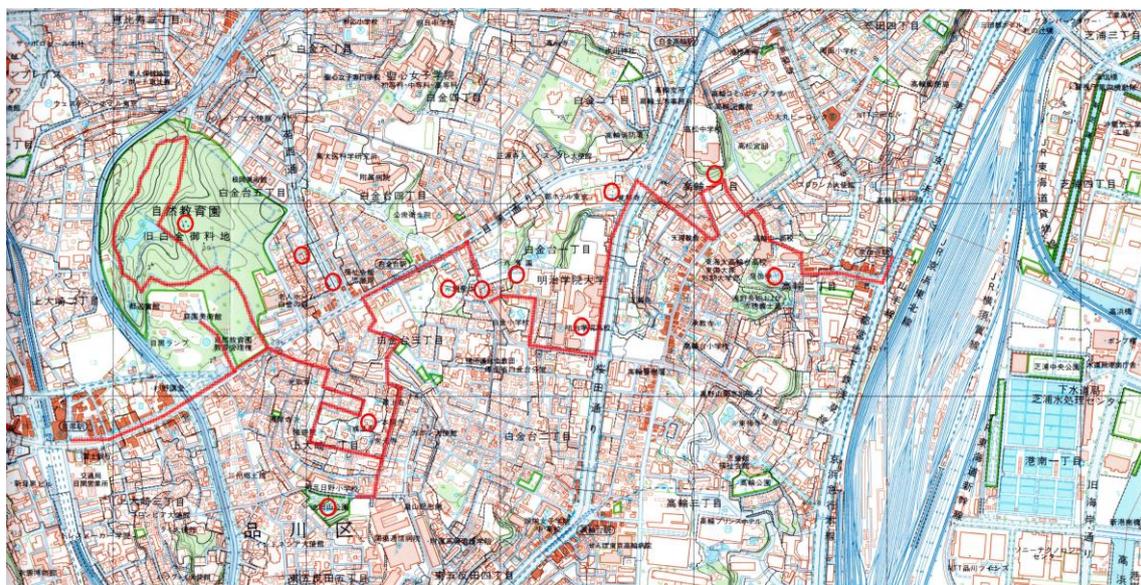
【街歩き解説】

1. 教育管理棟展示ホール、講義室、研究室、売店
2. 路傍植物園：四季折々の植物が楽しめます。
 - A. シイの巨木：路傍植物園内にあります。
 - B. モミジの新緑・紅葉：三叉路から水生植物園の間にあります。
3. 物語の松：この老松は江戸時代、松平讃岐守(まつだいらさぬきのかみ)の下屋敷の面影を伝えるものです。近くのひょうたん池などとともに、回遊式庭園であったとされています。
4. ひょうたん池：その名の通り、瓢箪(ひょうたん)の形をしています。
5. 水生植物園：四季折々の植物が水際にも映え、美しい風景をかもし出しています。
6. 森の小道東側に湿地を望みながら、ケヤキ・ミズキの森の下に伸びる小道です。
 - A. 小川と湿地：森の小道にあります。
7. おろちの松：この大きな松は江戸時代、松平讃岐守(まつだいらさぬきのかみ)の下屋敷の面影を残す松の一つです。樹齢約 300 年、いつの頃からか、大蛇の松と伝えられています。
 - A. 水生植物園：おろちの松の近くにいます。附属自然教育園は大都会「東京」の中心部にあって豊かな自然が残る、都市砂漠の中のオアシスともいえる緑地です。
 - B. コナラ林：水鳥の沼の近くにいます。
8. 水鳥の沼：カルガモやサギなどの水鳥が遊びに来ます。
9. 館跡：数ある土塁の中でもここのコの字型の土塁は中世の豪族の館跡とされています。

四季おりおりの自然が観察できます。
面積は20ha(6万坪)あります。



ルートマップ



+* * *+ オフィス 地図豆 Yamaoka mitsuharu +* * *+